

平成13年度漁業生産の担い手確保育成事業実施状況

瀬底正武

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協力者	経 過 及 び 成 果	問 題 点 及 び 今 後 の 課 題
一担い手育成関連 1) 交流学習会 (組織活動と青壮年部の役割)	7月 5日	センター会議室	漁協青壮年部	水産振興課	漁協青壮年部長事務局長会議(リーダー研修会)の講師として沖縄県農林水産部営農推進課主任専門技術員本村隆信氏に「組織活動と青壮年部の役割」と題して講演と全体討議、テーマ「青壮年部活動を永続的なものにするには」に加わってもらい助言等仰ぐ。当日は青壮年部、関係市町村等合わせて31名の参加があった。リーダー研修会の全体討議を含めた総括資料は、事務局が取りまとめ平成13年度の移動相談で紹介し報告している。	漁協青壮年部巡回移動相談との関連で開催した。 グループ討議の総括は、普及だより(50号)に掲載。
2) 漁協青壮年部巡回移動相談 (青壮年部の活動の支援・情報提供及び意見交換)	7月23日 7月31日 8月22日 9月 7日 9月26日 10月18日 11月19日 12月17日	沖縄市漁協 恩納村漁協 久米島漁協 八重山漁協 伊良部町漁協 伊江漁協 勝連漁協 石川市漁協	青壮年部 青壮年部 青壮年部 青壮年部 青壮年部 青壮年部 青壮年部 青壮年部	漁協 漁協 漁協 漁協 漁協 漁協 漁協 漁協	平成13年度実施計画の移動相談内容について開催しているが、青壮年部からの要望、活動の実施等に併せて開催する場合もあるため計画とは若干異なる場合もある。例えば、移動相談と交流会をセットでインテグレーションする場合や講習会等とのセットインテグレーションもある。 [平成13年度未開催漁協] 港川漁協、糸満漁協、知念村漁協、那覇沿岸漁協(体部状態) 港川と知念漁協青壮年部については、単独開催が難しいので合同移動相談開催に向けて漁協担当者及び組合長と調整している。 糸満漁協については、旧正月前後に調整していたが開催の目的は立っていない。年度内開催を目指す。 13年度は、普及センター情報を相談内容のメインにして青壮年部との意見交換を行った。 [普及センター情報] 1. トコフシの養殖技術について 2. シラヒゲウニの養殖技術について 3. クビレオゴノリの養殖について 4. マグロのヤケ防止について 5. ニライ号等漁船漁業情報	平成13年度は、青壮年部の実態調査も予定していたが、移動相談との同時並行では、調査まで済み込みず今年度は断念した。 実態調査については、次年度に移動相談とは切り離して実施する。 青壮年部移動相談は普及活動の中で唯一青壮年部と年1回巡回し意見交換する場であり、出来るだけ毎年継続したい。 内容については、現場の意見等を聞きながら幅広く対応したい。 一つのテーマに絞ってしまうと息詰まってしまう後が続かなくなる。移動相談全日程終了後は総括会議(部長事務局長会議)を開催し青壮年部間の交流を図りたい。
3) 第5回 シンポジウムの開催 (漁船漁業の現状と将来)	10月15日	水産会館	青壮年部、市町村、各種団体、関係機関等	漁連・水産振興課	「漁船漁業の現状と将来」について、県漁連の知念良廣参事をコーディネーターに、それぞれパネリストの立場で意見を述べてもらうとともに、フロアーの皆さんと意見交換しあい、21世紀を見据えた新たな漁船漁業のあり方について、パネルディスカッションを行った。参加者は、105名であった。 詳細については、普及だより51号に掲載。 1. 現状報告 新里勝也 農林水産部漁政課 企画係長	

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問 題 点 及 び 今 後 の 課 題
4) 沖縄県・青壮年女性漁業者交換大会開催 (第7回)	1月15日	水産会館	青壮年部、婦人部研究グループ 漁業関係者等	系統団体・関係漁協・市町村・農改普及センター	<p>2. コーディネーター 県漁連参事 知念良廣</p> <p>3. パネリスト 金城 宏 系満漁協代表理事組合長 比嘉行三 沖縄県指導漁業士 (国頭漁協) 比嘉康雅 沖縄県指導漁業士 (八重山漁協)</p> <p>沖縄県に於ける漁村青壮年・女性漁業者及び研究グループの自主的な活動実績を発表し、相互の知識の交流、活動意欲の向上及び結果の普及を図ることにより、今後の漁村社会の発展に寄与することを目的に、同大会が開催された。また、漁業士の平成13年度認定授与式が、同大会の席上で行われた。詳細普及だより51号に掲載</p> <p>1. 実績発表課題及び発表者</p> <p>1) 誇りの持てる刺網漁業を目指して 沖縄市漁協青年部……………菅山 すがた</p> <p>2) マチャグラー (鮮魚店) を売り込め 八重山漁協婦人部……………渡久山 州子</p> <p>3) 水産物加工と婦人部活動 平良市漁協婦人部……………友利 恵子</p> <p>4) 「意見発表」おじーと海 沖縄県立水産高等学校……………名嘉 翼</p> <p>2. 普及情報 トコブシの養殖技術について…与那嶺 専枝</p>	審査の結果、「水産物加工と婦人部活動」と題して発表した平良市漁協婦人部の友利恵子氏が最優秀賞に輝いた。
5) 本島地区若い漁業者確保推進会議開催 (第1回)	10月4日	普及センター	推進委員	水産振興課	<p>本県の沿岸漁業を将来的にわたって安定的な発展を図るためには、次代を担う若い漁業者の育成確保は最も重要な課題である。このため、普及指導活動においては漁業団体、市町村等関係機関との連携のもとに漁業後継者育成確保のための、普及活動を推進している。先般、本島地区の第1回推進会議が行われた。</p> <p>1. 会議内容 (第1回)</p> <p>1) 平成14年度漁業生産の担い手確保育成事業の検討</p> <p>2) 平成13年度漁業生産の担い手確保育成事業進捗状況</p> <p>3) 平成12年度漁業士会活動状況及び13年度計画</p> <p>4) 平成13年度青壮年・女性漁業者交換大会予定候補者検討</p> <p>5) 平成13年度漁協青壮年部巡回移動相談実施状況</p> <p>6) 漁業正組員年次別構成・漁業種類別構成調査進捗状況</p> <p>7) 重点普及課題の設定 (平成13年度～15年度)</p> <p>2. その他</p>	
6) 沖縄県及び本島地区若い	3月25日	普及センター	推進委員	水産振興課	<p>1. 会議内容 (第2回)</p>	

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問 題 点 及 び 今 後 の 課 題
漁業者確保推進会議開催 (第2回)					<p>1) 平成13年度漁業生産の担い手確保育成事業実施状況</p> <p>2) 平成14年度漁業生産の担い手確保育成事業計画</p> <p>3) 平成13年度漁業士会活動状況及び14年度実施計画</p> <p>4) 平成13年度青壮年・女性漁業者交換大会及びシンポジウム実施状況</p> <p>5) 平成14年度青壮年・女性漁業者交換大会及びシンポジウム実施計画</p> <p>6) 平成13年度中核的漁業者協業体育成事業実施状況(新規)</p> <p>7) 漁協正組員年代別構成・漁業種類別構成調査結果(報告)</p> <p>2. その他</p>	
*九州ブロック研修会開催 (沖縄県開催)	11月27日 ～28日	沖縄不二ホテル	普及職員	水産振興課	<p>漁業の動向及び漁業技術の進歩に対応し、的確な普及活動を推進するため、計画的な研修を実施し普及職員の資質の向上を図る目的で毎年開催されている。</p> <p>1. 会議内容(1日目)</p> <p>1) 講演「沖縄県水産物流通の現状と課題」 講師、沖縄県漁連市場部長 仲宗根 勇夫氏</p> <p>2) 中核的漁業者協業体育成事業について 講師、水産庁研究指導課育成推進班長 加藤 久雄氏</p> <p>3) 事例報告(各県10分程度) 福岡→佐賀→長崎→大分→熊本→宮崎→鹿児島→沖縄</p> <p>2. 視察研修(2日目)</p> <p>1) 恩納村漁業協同組合クヒレジタ養殖施設の視察</p> <p>2) 沖縄市漁業協同組合浮魚礁直売店及び水産施設の視察</p> <p>3) 同日、14時、那覇空港着(市内経由)解散</p>	<p>台風接近で開催期日の変更等 苦慮した。沖縄では年度始めか 秋口が無難のようだ。</p> <p>来年の開催県は宮崎県。 参加者は沖縄県含めて32名</p>

平成13年度漁業士活動実績報告

中 村 勇 次

課 題	実 施 時 期	実 施 場 所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問 題 点 及 び 今 後 の 課 題
少年水産教室への協力	7月	宮古支部	中学生	伊良波淳世	・伊良波島で行われたバヤオ漁体験学習（地元中学生約30名参加）に伊良波淳世氏が協力した。	
漁業士九州ブロック研修	7月25日 ～27日	中南部支部	各県漁業士	佐賀県	・佐賀県で行われた漁業士九州ブロック研修会に石川市漁協名嘉氏・沖繩市漁協小嶺氏が参加した。研修会では「漁業の協業化について」のテーマでパネルディスカッションが行われ小嶺仁氏が沖繩県の事例を発表した。	
漁業士会八重山支部総会	8月10日	八重山支部	八重山支部漁業士	八重山支庁	・漁業士会八重山支部総会を開催した。平成12年度実績と平成13年度の活動計画について検討した。与那国からの参加無し。	
漁業士会宮古支部総会	8月14日	宮古支部	宮古支部漁業士	宮古支庁	・漁業士会宮古支部総会を宮古支庁1階会議室で行い、平成12年度実績と平成13年度の活動計画について検討した。	
漁業士会中南部支部総会	8月15日	中南部支部	中南部支部漁業士	普及センター	・平成12年度事業報告及び収支決算報告承認、平成13年度事業計画案及び収支予算承認、規約改正、役員改選（現支部長・副支部長統投）を行った。	
沖繩県漁業士会総会	8月15日	全支部	漁業士	県漁連 信漁連 漁船保健	・平成13年度沖繩県漁業士会総会を開催。平成12年度事業報告及び決算報告、平成13年度事業計画案及び収支予算承認、規約改正、役員改選がそれぞれ承認された。新役員は、会長島袋博幸、副会長小嶺仁・安谷屋秀喜、監事比嘉行三・与座嘉雄に決定した。総会終了後、試験場・普及センター情報及び漁業士ブロック研修報告が行われた。	
対馬鮮度保持・流通対策視察及び五島ソディカ講習会	10月24日 ～25日	対馬・五島	北部支部漁業士	長崎県	・対馬・五島へ北部支部島袋博幸氏・我部政祐氏・比嘉行三氏で視察を行った。対馬では、定置網漁船に乗船し、網上げ・選別・出荷の様子を視察し、翌日の早朝福岡中央卸売市場にてセリでの様子を視察。五島では、比嘉行三氏を講師に「ソディカ漁法講習会」を実施した。	
新世紀定置網フォーラム参加	11月10日	富山県氷見市	定置網漁業者	富山県	・富山県氷見市にて行われた新世紀定置網フォーラムに島袋博幸氏が参加した。氷見の定置（寒鰯）は全国的に有名なため、懇親会の席上で現地の漁業者に頼み込み朝の漁に同行した。	
漁業士認定	1月15日	ホテルチュラ琉球	認定審査委員	漁協・市町村	・青年・女性漁業者交換大会において、宮古支部の根間明勇氏・	

課 題	実施時期	実施場所	対 象	協 力 者	経 過 及 び 成 果	問 題 点 及 び 今 後 の 課 題
漁業士業態別交流会マングロ鮮度保持意見交換会	1月29日 30日	石川市・本部町	漁業者	伊良波淳世	<p>友利義文氏・国吉正雄氏がそれぞれ指導漁業士に認定された。</p> <p>・石川市漁協・本部漁協にて伊良波淳世氏を講師として「マングロの鮮度保持について」の講演と試験場より情報提供を行った。両日合わせて約100名の参加があり、マングロヤケ対策に対する関心の高さが伺えた。</p>	
中南部漁業士交流会	3月28日	普及センター	中南部支部漁業士	上原佑強	<p>・普及センターにおいて中南部漁業士交流会を行った。内容としては、海老沢主任研究員と上原名普指導漁業士より資源管理の事例について紹介があり、みんなまで資源管理について話し合った。</p>	
漁業士業態別交流会モズク養殖業意見交換会	3月29日	石川市漁協	北部支部漁業士 中南部支部漁業士	我部政祐 渡名喜盛二	<p>・石川市漁協にて、我部政祐氏・渡名喜盛二氏を講師に漁業士業態別交流会モズク養殖業意見交換会を開催した。</p>	